

授業科目 社会学	区分・教育内容		
	基礎分野 人間と生活、社会の理解		
授業担当者 大学からの非常勤講師	開講時期	単位	時間数
	中期～後期	1 単位	30 時間
授業の目的 社会学の基礎概念を学び、社会的存在としての人間とその生活を理解するとともに、現代社会の諸問題について多角的に捉え考察できる力を身につける。			
授業の目標 社会集団、社会関係など社会学における基礎概念について理解し、現代の諸問題について多角的に考察できるようになる。地域コミュニティや家族の機能を理解しその変容について学び、現代における社会的課題を考察できるようになる。			
授業概要 現社会における様々な社会現象とその問題を取り上げ、多角的に考察する。 特に社会変動にともなう地域コミュニティや家族の諸課題を中心に社会学的に考察する。			
授業計画（進め方） 1 回目 社会変動と現代社会 2 回目 少子化・高齢化・人口減少社会 3 回目 多死時代の諸相 4 回目 医療・福祉問題 5 回目 家族の変容と家族問題 6 回目 家族とジェンダー 7 回目 家族政策の現在 8 回目 変容するコミュニティ（1）―「限界集落」問題 9 回目 変容するコミュニティ（2）―中心市街地の衰退 10 回目 変容するコミュニティ（3）―住民自治の諸問題 11 回目 変容するコミュニティ（4）―地域再生の課題 12 回目 グローバル化する社会の諸相（1）―グローバル化とエスニシティ 13 回目 グローバル化する社会の諸相（2）―グローバル化と現代の貧困 14 回目 労働と人権問題 15 回目 まとめ			
テキスト 使用しない。必要に応じて資料等を配布する。			
参考書・指定図書 必要に応じて授業内で指示する。			
評価の方法 記述試験を行う。場合によりレポートを課す。			